

# 議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～

あさぎり町議会

Q検索

No.71

R4年5.6発行



## 通年議会 第5・6回会議

- 一般会計当初予算 ……………2～7P
- ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議 ……9P
- 一般質問 ……………10～19P
- 常任委員会・一部事務組合報告 …21～23P

# しを支える積極予算

## 旧東庁舎解体設計委託料

1,000 万円

旧東庁舎は旧耐震基準のため  
R5 年度に解体します



# 113 億円

# 可決

## 旧須恵庁舎・旧深田中解体工事費

1 億 6,820 万円

両施設とも旧耐震基準で  
劣化が進んでいるため解体します



## 保育所等整備事業補助金

5,455 万円

保育園新築  
令和 5 年度落成



## 子ども医療費助成事業費

5,319 万円

9 月から 18 歳まで  
対象となります



## 3 月定例会のあらまし

3 月定例会は、3 月 8 日から 18 日まで 11 日間の会期で開かれた。

一般質問には 10 人の議員が、婚活事業や施策・方針等の実施へのプロ  
セス及び副町長の辞職、町長の施政方針に対する町の考えを質した。

町からの提出案件は 29 件で、条例制定、補正予算、令和 4 年度一般・特別・  
企業会計などを審議し、すべて原案のとおり可決した。

# 14,600人町民のくら

**歳入**  
113億  
6,026万円

地方交付税  
45億  
3,211万円

国庫支出金  
14億  
4,119万円

町税  
11億  
8,673万円

県支出金  
11億  
1,474万円

繰入金  
8億  
4,703万円

町債  
8億  
3,420万円

地方消費税交付金  
3億 1,248万円

財産収入  
1億 3,556万円

繰越金他  
9億  
5,622万円

## デジタル推進費

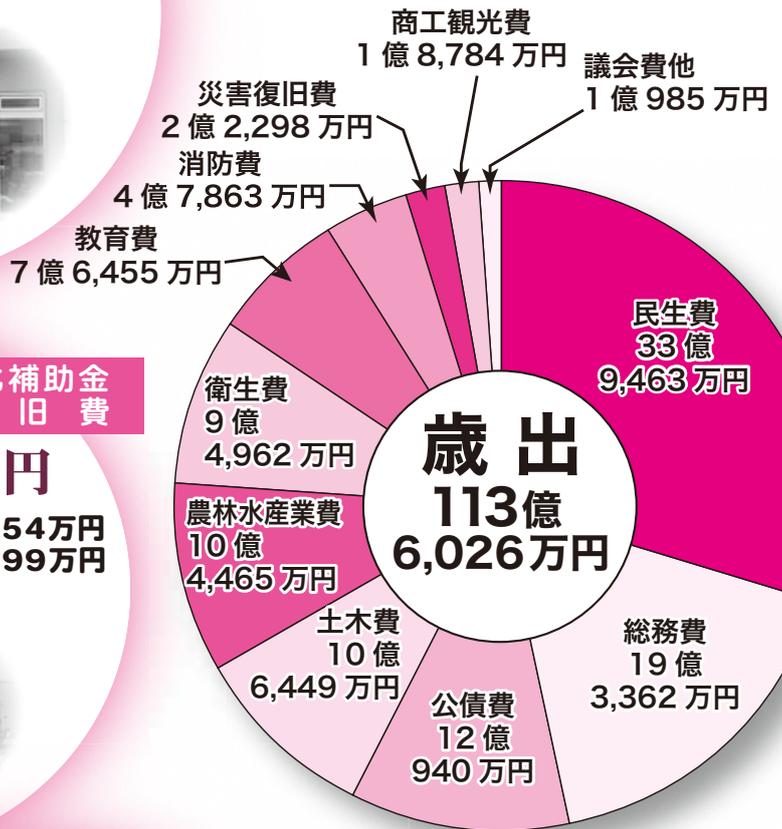
7,093万円

ヘルシーランド（交流センター）にテレワーク拠点整備を行い企業の社員や大学の研究室等に利用していただき交流人口の拡大に努めていきます



## 一般会計予算

このように  
使います



## くま川鉄道 経営安定化補助金 災害復旧費

1億 3,053万円

経営安定のための補助金3,054万円  
災害復旧のための補助金9,999万円



## 町営住宅改修工事費

8,800万円

平和団地 14戸を長寿命化に向けて改修します



## 町道等改良費（歩道整備）

1億 1,300万円

子ども達の通学路安全対策のために歩道を整備します



# 一般会計当初予算への質疑（抜粋）

## 総務建設経済常任委員会所管課分

（総務課・会計課・企画政策課・農業委員会・農林振興課・商工観光課・建設課・上下水道課・財政課）

**問** 空き家実態調査委託料。300万6千円。前回は消防団にお願いしていたと思うが、今回も消防団にお願いするのか。また、特定空き家、空き店舗も含まれているのか。

**答** 前回、平成29年度は、消防団にお願いしたが、今回は外部コンサル等の業務委託という事で計画している。調査には、特定空き家も含まれる。空き店舗も、空き家に含まれるという考え方もあるようなので、調査の中で、協議検討していく。

**問** 会計課の中で、指定金融機関の負担金が値上げされた理由は。

**答** 令和3年度までの150万円から令和4年度については250万円に増額している。平成16年度からJAに指定をして、翌年から150万円を毎年度支出していたが、実際の額に対応した金額に変更するべきであろう

という点と、町民の利便性を向上していく為に、窓口の時間を合わせていただいている。という現在の実情を踏まえて、適切な金額を負担すべきという事から今回の増額とした。

**問** 地域おこし協力隊の目的は、ある程度の定着をという事で都会のほうから、こちらに来ていただくようになってきているが、定住定着は今までどれくらいあったのか。

**答** 数年前より地域おこし協力隊員に来ていただいていいるが派遣期間終了後に定住された方は今のところない。

**問** 公用車のEV化の考え方、あさぎり町として通常の公用車としての使用、脱炭素化の中でのEV化、非常時の非常用電源の1つ、といった考え方をどこまで取り入れられているのか。

**答** 今、第2庁舎の基本構想の中で充電装置と蓄電池を備えて、EV車を購入した時に充電出来るような仕組みを検討している。今後、車の更新時期に少しずつEV車に変わっていくという協議をしなくてはならない。

**問** 農業支援センターの運営負担金1,739万9千円に関して、このまま産業活性化基金から運営負担金を出すのか。令和5年度にあさぎり商社の組織の一部としてやっていくつもりなのだろうか運営費はそちらの方から出るのか。

**答** あさぎり商社が今年4月1日から設立されているが、農業支援センターについては令和6年4月位の予定で一緒の形になると考えている。それまでに体制の強化に取り組んでいく必要がある。また、農家の支援というものにも充分にこたえられるように努力していきたい。



あさぎり商社、スタート！

**問** 令和4年度も商品券の計画がなされているが、買いたいけど買えないという声も聞く。町民を優先して販売できる方法という考えは。

**答** 令和3年度においては88%は町民の方に買って頂いている。企業で働いておられる町外の方がおられる関係上そういう方には少しでも還元したいと販売している。

# 厚生文教常任委員会所管課分

(税務課・町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課・教育課)

**問** 町税における滞納分の徴収率はどのくらいを見込んでいるのか。滞納繰越の累積額は。

**答** 徴収見込額は令和4年度に8%を見込んでいます。3月7日現在で収入未済額は6,825万9千円となっている。

**問** 生ごみの一般収集については量的に増えているのか。

**答** 令和3年度については、家庭系の生ごみは現在の時点で昨年の約10トンに対して10・129と増えている。事業系についても1トンほど増えている。

**問** デマンド交通の運行補助金に関し、公立多良木病院に乗り入れが可能になっているが、今後この予算を立てるに当たって、どれくらいの人数とコースを予想しているか。

**答** デマンド交通の委託料は、1日に1台当りの単価が決まっており、その1台当たりの日額に日数を掛けた分が委託料となる。委託料にはオペレーターの人件費等も含まれている。

現在3台が稼働し、多良木公立病院には岡原地区、須恵地区の方のみに乗り入れできるようになっている。また、予約が重なった時や忙しい時期は、4台目の運行も可能としており4台目の運行に関しては、賃料による運行を月額2万円までの支払いを見込んでいる。

**問** 今回、公立病院の負担金が、1億円を超えている。構成町村自治体が医療政策というのを明確に持ち、公立病院に提案できるような担当窓口をつくるべきでは。

**答** 4か町村での公立多良木病院だが担当部署を置いて病院の事務方と協議をしていく。その上で開設者協議会を開くということが必要だと考える。

**問** 食材の高騰で給食費の値上げは考えているのか。

**答** 給食費の賄材料については、パン等がこの5年間で10%ほど値上がりしている。また1番値上がりしているのが食用油で、1年間で30%ほど上昇している。

非常に悩ましいところだが、令和4年度内での給食費の値上げの対応と保護者負担分については考えていない。

**問** 学校図書標準冊数は今回の予算で対応できるのか。また、新聞も小学校2紙・中学校3紙を配置をして学習に活用するようにしているが、どのような状況か。

**答** 標準冊数に満たない学校は、深田小学校とあさぎり中学校で早急に関係校と協議をして進めていく。新聞配置数が満たない学校は、深田小学校とあさぎり中学校。新年度予算の中で対応していく。

**問** これまであさぎり町の被保険者国民健康保険税は、税額が高いといわれてきた。予算を組立るときにどれくらいのランクにあるのか。現在、球磨郡内と県下ではどれくらいのところに位置しているのか。

**答** あさぎり町の1人当たり保険税が県内でも上位にあるという報道があるが、あくまで保険税の全体の額を被保険者数で割った場合の額が高いということ。

保険税が決まる要因は前年度の所得が大きく、あさぎり町は自営業者の高所得者が多い。標準的な所得の世帯で計算した場合は、あさぎり町の税率は上位にはいかない。



あさぎり中、図書室の様子

# 総括質疑

**問** 給食費の値上げは、当分はなされないようだが、米が余っており作付がどんどん縮小していく状況で、米価も下落している。米飯の完全給食または1食ぐらい増やすことができるか。

**答** 米飯回数を増やすことについては、今後、学校給食運営審議会の中で審議したい。



**問** 第2庁舎建設に町有林材を提供するが、素材生産の経費を建設事業費として計上しなければ、結果的に町が不利益を被るのではないか。

**答** 第2庁舎の建設費については、実施設計中である。基本設計の時点で原木量1千立米の木材を使用し全て購入する場合は1億7千万円程度が購入代にかかる。これには合併特例債を充当してその後の70%の交付税措置を見たとき、町の負担額は5,680万円程度と見込んでいます。基本設計の時点では、町有林を使ったほうが3,400万円程度建設費の低減はできるという想定をしている。最近では八代市の庁舎が八代市の木材を使って建てたので、参考にしてきちんとした

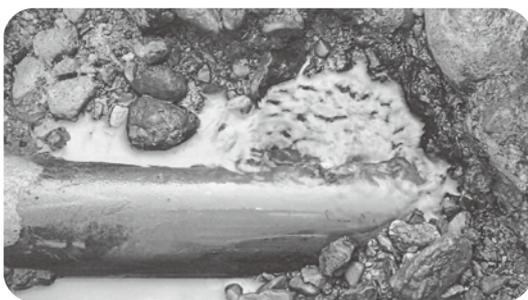
報告になるように、町民の不利益にならないようにやっていく。



**問** 総体的に水道事業の場合に、管路を含めた構造物等の耐震化等がどの程度進んでいるのか。耐震化、老朽化は将来の町のインフラに非常に大きな影響を及ぼすのではないか。

**答** 水道施設の老朽化度は有形固定資産減価償却率ということで

令和2年度は50%という数字も出ている。管路経年化率は、令和2年度の数字で10・37%。免田地区の管路の経年化率は50%前後である。その他の旧簡易水道の施設については、比較的新しい。今後は経営戦略等をもとにしつかりと考えていきたい。



経年劣化の進む水道管

**問** 文化ホール改修工事の工期と工期中の文化ホールの代替施設は。

**答** 工期は、令和4年4月から令和5年2月10日までを予定している。また、この工期期間中は、大ホールの使用ができないため、せきれい館等を使っていた。





ふるさと寄付金返礼品発送  
(株式会社あさぎり商社)

**R3年度 一般会計補正予算 (第7号)**

～第5回会議～

1月18日(火)

歳入・歳出それぞれに4億7,593万円を追加し

**総額 140億732万1千円**

(主なもの)

- ふるさと基金積立金  
.....5,000万円
- ふるさと寄附対策費(寄附お礼品、発送・代行業務委託料等)  
.....3,222万円
- 子育て世帯等への臨時特別給付金  
.....3億4,360万円
- 大学生等への臨時特別給付金  
.....2,000万円
- 林業施設災害復旧費  
.....2,015万8千円

**R3年度 一般会計補正予算 (第8号)**

～第6回会議～

3月8日(火)～18日(金)

歳入・歳出それぞれに  
6億7,996万1千円追加し

**総額**

**146億8,728万2千円**

(主なもの)

- 基金費(積立金)  
.....2億7,766万8千円  
(ふるさと基金積立金・まちづくり基金積立金・公共施設整備基金積立金・財政調整基金積立金・減債基金積立金、他)
- 水道事業特別会計出資金  
.....2億5,000万円
- 下水道事業特別会計出資金  
.....2億5,000万円
- 学校教育施設整備基金積立金  
.....1億3,008万9千円

**審議内容の抜粋**

- 問** 財産売払いの方法、売り払った価格の設定の仕方は。
- 答** 通常、公募して高い価格で入札があったものに決定する方法をとるが、今回は、個人の宅地に面した水路道路、旧法定公共物で、特定の方が利用するというところで個人に売却したものである。価格の設定については、近傍類似地の宅地の単価を基準とし単価設定をして売却した。
- 問** 当初予算で農業経営診断委託料1,600万円と計上し、1人50万円の方
- 答** 予算化をした時には、基準日の時点の人数で1万5,050人を想定していたが、事業を行う段階で対象外となった方
- 問** 生活応援券給付金事業費の89万5千円の減額理由は。
- 答** 生活応援券給付金事業費の89万5千円の減額は、昨年、一昨年と新型コロナウイルスの影響によってあと2地区ができていない。本年度の末までには実施しようと考えており、それ以外を減額している。
- 問** 地域の話合い推進補助金、水田農業経営確立対策事業費の減額とあるが、コロナ禍という状況での減額なのか。
- 答** 昨年、一昨年と新型コロナウイルスの影響によってあと2地区ができていない。本年度の末までには実施しようと考えており、それ以外を減額している。
- 問** 30名分ということだったが、参加者は何名か。
- 答** 本年度については、19名で実施をしている。事業がまだ完了していないが、1千万円を超えない金額になるのではと考えている。
- 問** が179名あったということ、5千円を掛けて89万5千円の減ということになっている。
- 答** 本年度については、19名で実施をしている。事業がまだ完了していないが、1千万円を超えない金額になるのではと考えている。



# 条例の制定および改正



- 第5回会議  
議案第38号 1月18日(火)  
**あさぎり町運動公園条例の一部を改正する条例の制定について**  
深田地区体育館を教育財産から用途廃止とする。
- 第6回会議  
議案第45号 3月8日(火)～18日(金)  
**あさぎり町地域デジタル推進協議会条例の制定について**  
デジタル社会の実現に向け、町民の多様な幸せが実現できる環境を目指す組織として協議会を設置する。
- 議案第46号 **あさぎり町避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について**  
災害対策基本法の規定に基づく避難支援等関係者に対する名簿情報の提供に関し必要な事項を定める。
- 議案第49号 **あさぎり町消防団条例の一部を改正する条例の制定について**  
○ 消防団員の定員を「700人」を「650人」に改める。  
○ 団員の報酬は、年額報酬及び出動報酬とする。  
この条例は、令和4年4月1日から施行する。
- 議案第50号 **あさぎり町の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について**  
特別職の非常勤職員である産業医の年額報酬を「120,000円」から「360,000円」に改める。  
この条例は、令和4年4月1日から施行する。
- 議案第51号 **あさぎり町旧役場庁舎条例の一部を改正する条例の制定について**  
旧岡原庁舎及び旧須恵庁舎本館を廃止する。
- 議案第53号 **あさぎり町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について**  
○ 子ども医療費助成対象年齢を満18歳に達する日以後最初の3月31日までにある者に拡大する。  
この条例は、令和4年9月1日から施行する。

# 請負契約の締結及び指定管理者の指定等

- 第5回会議  
議案第39号 1月18日(火)  
**上小学校屋根改修工事請負契約の締結について** 賛成多数で可決  
工事名 上小学校屋根改修工事  
契約金額 81,950,000円  
契約の相手方 丸昭建設株式会社  
契約の方法 指名競争入札
- 議案第42号 **あさぎり町ヘルシーランドの指定管理者の指定について** 賛成多数で可決  
施設の名称 あさぎり町ヘルシーランド  
指定管理者 株式会社 勇工務店  
指定の期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで  
契約の方法 公募型プロポーザル
- 第6回会議  
議案第70号 3月8日(火)～18日(金)  
**あさぎり町農産加工センターの指定管理者の指定について** 全会一致で可決  
施設の名称 あさぎり町農産加工センター  
指定管理者 有限会社あさぎりふるさと振興社  
指定の期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
- 議案第71号 **須恵文化ホール改修工事請負契約の締結について** 全会一致で可決  
工事名 須恵文化ホール改修工事  
契約金額 270,600,000円  
契約の相手方 丸昭建設株式会社  
契約の方法 指名競争入札

## 令和3年度第5回会議 表決一覧表 (抜粋)

※議長は採決に加わりません。

議案	議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小島	溝口	森岡
議案第39号	上小学校屋根改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	あさぎり町ヘルシーランドの指定管理者の指定について	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×

## 「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議」を



小見田和行議員（賛成者山口和幸議員）より提出された。

提案理由として、「2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵略は国際社会の平和と安全を著しく損ない、武力を背景とした一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反である。また、今回の軍事侵略に際し核兵器の使用を示唆するような発言は、我が国は世界唯一の被爆国であり、断じて許すことが出来ない。日本政府におかれては、国際社会と連携して、毅然たる態度で、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を求めるため」としている。

### ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議

2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、断じて容認することができない。

このような武力を背景とした一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすものである。

また、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、今回の軍事侵略に際し核兵器の使用を示唆するような発言を行った。

我が国は世界で唯一の被爆国であることから、本町においても平成18年に「核兵器廃絶・平和都市宣言」を行い、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を強く願ってきたところである。このような本町の立場からウラジーミル・プーチン大統領の発言は断じて許されない。

ここにあさぎり町議会はロシアに対して、ウクライナへの一連の軍事侵略に断固抗議するとともに、日本国政府におかれては、国際社会と連携し、毅然たる態度でロシアへの制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を求める。

さらに、日本国政府においては、ウクライナにおける邦人や避難民の確実な救済対策などを考慮され、加えて、在日ロシア人への差別や人権侵害についても最大限の配慮を講じられるよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月18日

あさぎり町議会

2022年4月25日現在では未だ停戦が実現せず、子どもを含む多数の罪なき人々が、戦禍に巻き込まれ平穏な日々を奪われ命を落としている現実があります。両国の人々の下に、一日も早く平穏な日々が訪れることを心より祈念するものです。





みねお 峰男 議員

## 観地協に統一した方が 事業効果は出るのでは

**問** 人吉球磨観光地域づくり協議会（観地協）の運営体制をどのように構築していくのか。



「観地協」推奨品 三日月ロゴマーク入りのあさぎり特産品

**町長** 平成30年3月に郡市10市町村、民間の事業者で組織されスタートした。令和3年6月に一般社団法人として登記が完了し現在DMOの資格を観光庁に申請をしている。

**課長** 地域の稼ぐ力強化と地域の推進体制の確立を柱に魅力ある商品の開発、国内外の誘客の拡大、市町村枠を超えたデジタルプロモーション、継続的なデータ整備と受け入れ態勢づくりを活動方針として進めていく。

**問** 観地協は、今後マーケティングに力を入れていくとのこと、各市町村が行っている特産品開発や販路拡大事業は、コスト削減及び効率化を図るために観地協に統一した方が効果は出るのではないかと。

**課長** あさぎり町には観光協会の組織はないので、観地協との連携はメリットが大きい。商品開発や販路拡大は、ふるさと振興社と協議しながら進めていきたい。

**問** 人吉球磨の観光客誘致には、人吉インター入り口にバスターミナルを整備すれば交通便もはるかによくなるのではないかと。

**町長** 鹿児島空港、熊本空港のバス利用者の利便性が悪いので、公共交通会議の中でいろんなことを考えてはと提案している。

婚活事業にもっと力を入れるべきではないか

**問** 国の地域少子化対策重点推進交付金を活用して、結婚対策に力を入れるべきで、以前は結婚相談員もいたが実情はどのようになっていくのか。

**課長** 結婚相談員は、現在いない。

**問** 結婚相談員の委嘱も検討していたのだが、全国を調べると交付金を活用し婚活事業で成果を挙げている自治体もある。あさぎり町も熊本県、企業、団体を巻き込んで、郡市の自治体が一緒になって取り組まなければ成果は出ない。民間の力も非常に大事だと考えるが、今後どのように進めるのか。

**町長** 熊本県も結婚子育て推進事業を進めているが、結婚数も減少しているが、結婚数も減少し県も危機感を持っている。

あさぎり町も出生者数が減少しているのだからゆるり取り組みをやりたい。

**問** 観地協が婚活事業に取り組んでくれたら新たな展開が生まれるかもしれないと期待するが。

**課長** 意見を参考にして進めていきたい。

デジタル弱者の救済をすべきでは

**問** デジタル化を進める中で、後期高齢者は「ついていけない」との話を聞く。デジタル弱者を救済する具体策を示すべきではないか。

**町長** デジタル推進室を立ち上げ、講習会等を実施し中学生・高校生・家族の力を借りて利便性を向上させていきたい。

# 一般質問 10人が登壇

## 2050年ゼロカーボンシティ 宣言の実現に向けて



橋本 誠 議員

**問** 農地に営農型太陽光発電を導入にすることについて、農業委員会などの許可申請をする必要はないのか。

**町長** 設備の設置に当たっては、農地法に基づく一時転用許可が必要。

**問** 家畜舎屋根に太陽光発電施設を導入するには、畜産農家の理解と協力を得なければならぬが、どの様に考えているのか。

**町長** 畜産農家は1日中大変忙しい仕事をされている。短期間で御理解頂き、特に資金的な面で不安がないように、サポートする制度をつくっていききたい。

**問** 再生できない荒廃農地にクヌギを植林し、CO2を吸収するとともに高級木炭を製造する事業について利益誘導の心配はないのか。

**町長** その事は慎重にやらなければならぬ。疑われないとあってはいけないと思っている。

**問** クヌギばかりじゃなく、森林管理による「吸収量」を増やす必要がある。町有林の積極的な整備も進める必要があるのでは、その為には林業の後継者の問題、人材を確保して管理していく必要があるのでは。

**町長** 若い人たちが町に呼び込むために、山を活用した産業を興していくというのも大事だと思う。

**問** そういう人たちの確保の為、地域おこし協力隊の人で興味のある人を受入れて頂きたいと思う。バイオ炭を使つての農地の土壌を改良しCO2を貯留するとともに、有機農業を普及する事業とあるが、具体的にどのような方法を考えているのか。

**町長** バイオ炭団体、県の農業研究センターとも連携しながら、先進地の事例を参考に有機農業に結びつけていきたい。

**問** 町内に再生可能エネルギーで作られた電力を供給するゼロカーボン電力事業とは。

**町長** やり方としては、企業が太陽光を設置して、電気は企業が販売。土地代をいただくというような方法もあるので、一つの考え方として地元で電力会社をつくるという計画を上げている。

**問** 2050年に向けて今はまだ初期だが、ゼロ宣言するだけではできない。町民目線で進めていただければと思うが。

**町長** 今コロナで私たちの生活や生業に非常な影響が出ており、私たちの生活は大きく変わっていくものと思う。

町民の皆さんと一緒に手を握ってやっていくことで町の活性化にもつながる。町民の皆さんとの会話を重点に重視していきたい。

家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らしましょう

家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に消費します。  
▶年間約 238 キログラムのCO2の削減  
▶年間で約 10,400 円の節約



●「地域おこし協力隊」の本来の在り方について  
その他の質問

# 2050年ゼロカーボンシティ宣言の 実現に向けての取り組みは



とよなが きいち  
豊永 喜一 議員

## 問

施政方針で、あさぎり町の将来のCO2排出量や、導入できる再生エネ量を推計し、ゼロカーボンを達成するために、必要となる再生エネの導入シナリオを示し、同時にあさぎり町の特徴を生かし、森林によるCO2吸収やバイオ炭を用いた農地の土壌改良によるCO2の貯留についても検討するとある。これらのことについて問う。

## 町長

地球の温暖化防止、それから農業の化学肥料とか農薬の削減、そういうものの目的にちゃんと資するような事業に取り組んでいきたい。

## 問

再生エネ導入計画策定業務委託料として1,000万円予算計上してあるが、あさぎり町再生エネ導入戦略の策定の中身等は。

## 企業 政策 課長

環境省の100%補助事業を使う予定。申請要領に基づいて、地

域の現状課題とかこれまでの取組背景、活用する地域資源と解決したい地域課題、これから取り組んでいく事業の実施内容全てではないが、町長が示している5つの事業についても含めて記載し、申請様式の中には目標達成までの行程等を記載するところがあるので、只今検討している。計画を策定するスケジュールを令和4年度中に発注し、令和4年度中に計画書策定、令和5年度に検討委員会等を行いながら、取組の内容を固めていく。

## くま川鉄道沿線 活性化事業は

## 問

くま川鉄道沿線活性化事業については、くま川鉄道復興後の利用客の増加と沿線であるあさぎり町内の活性化を目的に再開発の再整備

を同時に行うものがあるがこれについて問う。

## 商工 観光 課長

現在、あさぎり駅周辺は国道は交差点を中心とした改良が行われ、おかどめ幸福駅はくま川鉄道の一部復旧により少しずつ復興に向けて動き出している。今後、あさぎり駅前用地取得とくま川鉄道沿線と基本構想業務委託の中で、町民アンケート調査や関係機関等の意向調査、整備の基本的な方向性の検討を行っていく。

## 問

あさぎり町には3駅あるが、施政方針の中には東免田駅は入っていないが。

## 町長

決して取り組まないと決まるとは決まらず、東免田駅はどうか、個性のある駅にしたいか、時間をおいてやっただ方が良いと考えている。

## その他の質問

●職員の副業・兼業を許可する要領について



くま川鉄道沿線「東免田駅」

# 「婚活」の具体的な取り組みは



議員 子越 てるこ

**問** 令和3年度の結婚は何組あったのか。ポッポ一館に以前結婚相談員の方がおられたと思うが、経緯を伺う。

**商工観光課長** 令和3年度の取り組みについて一応計画はしたが、コロナ禍で実施できていないものの、一対一のお見合い形式で5回は実施。結婚に結びついたという報告はあっていない。

**問** 県の総合戦略、令和5年度までのまち・人・しごと創生戦略で、将来に向けた取り組みで、子どもを安心して産み育てる環境、誰もが安心して暮らせる地域づくりなどが示されている。地域少子化対策交付金令和3年度当初予算で期待される効果等として、自治体が十分取り組むことができなかった未婚化、晩婚化対策の取り組み、子育てに温かい社会づくりを全国津々浦々に拡大

し、経済的負担がネックとなつて結婚に踏み切れないものが多い中、結婚の希望の実現に向けた後押しとなるという事で示されているが、町としての資金の活用は。

**商工観光課長** 商工観光課では使っていない。

**問** 熊本スタイル結婚子育て推進事業で、結婚生活支援補助金を活用した取り組みをされている町村もあるようだが、町としての取り組みは。



旧上村商工会女性部で取り組んだ時の表紙

**商工観光課長** 結婚費用にかかる分の補助はしていない。

**問** 球磨郡では3町村が取り組んでいるようだが、町は取り組みがないのか。

**商工観光課長** 町では移住定住補助金を出している。

3町村で取り組まれている補助金に対しては、年齢制限・所得制限がある。状況を調査して見る。

**町長** 熊本スタイル結婚子育て推進事業、この中によかボス企業、市町村県による協議会の幹事会に参加しているの

で、結婚・子育ての支援もやっつけていく。

**問** よかボス結婚支援事業で令和4年2月11日開催のイベントは。

**商工観光課長** 人吉を除く9町村で組織しているが、募集はしたもののコロナ禍で実施できなかった。

**問** 北海道の美瑛町では、アグリパートナー協議会を設置し、農業委員会・JA・結婚相談員と連携を図り結婚相談に乗っているという事例もあるようだが、町も商工会・商工観光課との連携も必要ではないか。

**町長** 当初予算の中で、地域イベント補助金を要求し、商工会と合同の婚活事業を行っていく。

**問** 人吉球磨の定住自立圏共生ビジョンに人吉球磨の地域医療の在り方を審議する場を加えるという事だが。

**町長** 公立多良木病院との連携、産婦人科の医療の救急体制と共に人吉球磨という地域づくりも大事であると考えている。

その他の質問  
●生涯学習についての認識は



議員 岩本 恭典

## 第6波に対する支援策について

**問** 新型コロナウイルス感染症が未だ収まらず、町はこれからも議会と協力しながら、国・県と連携して事業者・農業者を支援していくと言われたが、地方創生臨時交付金の感染症対策の状況と残額は。

**答** 令和2年度分については、4億1,181万6千円で、43事業に充

てている。令和3年度の交付限度額は、1億8,617万8千円で、事業者支援分という新たな交付の分も含んで、26事業に充てている。令和4年度の実施計画分として、1億8,035万5千円が交付予定額として通知が来ており、6事業に5,396万6千円を充当予定しており、残額は、1億2,638万9千円になる。

**問** 経済が停滞している状況を見ると、何らかの支援をしないと体力がもたないと思うが、残額を使って6波に対する支援策を考えてないか。

**町長** 国の事業復活支援金があるので町で広報しながら、商工会と連携してこの制度を使って頂くようお願いしている。必要であるものに対しては、臨時交付金を活用していきたいと思うが、新しい販路、新しい技術の開発、新しい商品の開発もやって頂きたいという思いもある。

**問** 農家の方に現在の状況を尋ねたら、農産物の需要は増えているが、固定費（人件費・リース等）、変動費（原材料・肥料等）が値上がりして、物によっては倍になっており、作っても赤字になるのではと心配されている。危機的な状況だからこそ財政調整基金、あるいは、産業活性化基金を使う時じゃないか。

**町長** 議員との協議の中でやるべきだ、ということではない。現時点では、そこまでの差し迫った状況ではないと見ている。

**問** 影響が出てくるのが数カ月後なので、農家の方々の声を拾って、町村会で国に要望書を出して、手厚い補助をお願いしていくべきでは。

**町長** 球磨郡町村会で要望書を作成して要望していきたい。

**問** 商工業に関して、「あさぎり町新型コロナウイルス感染症対策」は2月で締切りだが、最終的な申請の状況は。

**町長** 持続化補助金の申請が67件で3,930万円、制度資金利子補給補助金は、84件で249万7千円の補助を交付している。

**問** 今を動かす現金がないので、引き続き令和4年度も商工観光課で持続化補助金のような事業を考えてもらえないか。

**町長** 小規模事業者の皆さんの現金収入が少なくなってきた中

での支援策をとということなので、そこはしっかりと考えていきたい。

**問** 町民の方々にこれまでに4回の生活応援券を出して生活を応援してきたが、5回目は考えていないか。

**町長** まだ考えていない。

**問** 町長は、10月に感謝祭を考えているが、町民の方々に広く参加してほしいという目的もあり、祭りで使えるような商品券を考えては。

**町長** 1番良い一つの手段ではないかと思

うので、予算を検討し、可能であるなら議会のほうにお願いしたい。





議員 美文 波難

# 外部人材を 活用する 取り組みは

**問** 営農型太陽光発電の導入は農家の所得向上と併せて農地転用許可や災害対策、そして大規模なパネルから放出される高電磁波による影響などハードルの高い事業である。デメリットの認識は。

**町長** 電磁波の影響は今はなくても将来的に出る可能性もあるので、健康や作物の事を考え国の専門的な知見や農業者の理解を得ながら慎重に計画する。

**問** 関係人口の創出事業は重要である。現在、町の地域おこし協力隊は農業分野で1名である。これまで応募が少なかった原因や今後の募集方法は。

**課長** 募集に未婚既婚の条件はない。定住用の空き家改修経費を補填する財政措置も可能なので検討する。

## 福祉3課と社協の連携事業は

**問** 日本の医療費は30年前と比較して約6倍の35兆円。医療連携の健康運動教室による医療費削減効果は。

**課長** 現段階では削減効果が、運動教室参加1年後の平均体力年齢に8.9歳の若返りが見られた。体力を維持することで効果につながるかと考えている。

**問** 県内の協力隊定住率は67%。就学率や生産年齢人口の増加に繋げるために、比較的若い家族持ちの協力隊希望者を募る考えはないか。

**課長** 今後事業の補助金が減少した際の年金生活者も含めた利用者の負担金増については、利用者アンケートでは月額1,500円という回答が多かった。

**問** コロナワクチン接種後の副反応や5歳から11歳の子どもの接種申込み状況を保護者に対する十分な説明はできているか。

**課長** 集団接種会場で56件の体調不良があった。子どもの接種希望は62%。保護者には厚労省の最新説明資料で十分な確認と理解の上、接種するよう努めている。

**問** 超高齢化社会で身寄りのない特養施設入所者の終末について共同の無縁墓や納骨堂などの支援対応はできるか。



将来世代のための町づくりを！

**問** ふれあい福祉センターを乳幼児や子供等の安全な屋内あそび場として、また食育推進のパネル展示や講演の場所として活用できないか。20代から40代の将来世代の健

康と幸せを考えたまちづくりが必要では。

**課長** 社協のファミリーサポート事業利用者と同様に安全な量の間を利用できるように考える。

**課長** 食育に向けては、パネル展示などを検討する。

**町長** 世代間や団体同士の交流を経験してもらい様々な考え方や価値観、人生観をお互いに理解し共有できるまちづくりを一緒に進めていきたい。

その他の質問

- 地域食堂に婦人会の活用は
- 議会傍聴を健幸ポイントに
- 健幸応援券を500円から1千円に



もりおか つとむ  
森 岡 議員

# 行政財政改革の推進は

## 問

我が国の行政改革の指針は、市場原理を取り入れ、民間活動を優先し行政活動の効率化を図り、行政による説明責任の遂行と透明性を確保することを目的が公表された。

本町においても、平成17年より新時代に対応した地方公共団体の行政改革を推進してきたが、この15年間の成果と、役場業務の生産性の向上を目的に、トータルシステム診断を実施したが、現状認識と、システムの機能や、あさぎり町総合計画との整合性は図れるのか。

## 町長

行政財政改革の推進課題については、令和3年度において、トータルシステムによる診断を受け、総合計画が期間中の見直しの不備の指摘を受け、時代環境の変化に合わせて計画として、適宜見直し事業や予算の目的を明確化し基本計画の実現のため、全職員が一体となり、トータルシ

ステムを導入し、併せてブリッジ人材の確保に努める。

平成18年からの第

## 課長

一次行政改革より、事務経費の削減、組織改革、定員管理適正化による人件費の削減による一定の成果を上げた。現在、第四次行政財政改革プランにおいて、新たにデジタル技術を活用し、事務の効率化、民間活力や外部人材の活用、行政運営を推進する。

## 課長

町は総合行政システムとして、RKKコンピュータサービスと年間四千万で委託契約し、財務会計や、財政関係、行政のシステムを運用している。

今回のシステムの診断結果を受け、総合行政システムの運用は変えないが、個別計画等が全体的に効率に働く取組を実施して行くと共に、業務の標準化とデジタル化については、目標のシンプル化の一環として、総務・企画・財政各課の共

## 問

トータルシステムが町民への福祉等のサービスの波及効果をもたらすのか。

## 町長

ハンドメイドの計画で仕事の効率化を図る事により、町民サービスにつなげる。

その他の質問事項  
●あさぎり町における土砂等の排土・盛土による環境保全対策として条例制定について

※トータルシステムとはある目的を達成するため、相互に作用しあう人、コンピュータ及びソフトウェアの体系（システム）の全体を完全包含するものをさして言う・・・総合システムともいう。





# 外部人材活用の 進め方は

かがやま みつこ 議員  
加賀山 瑞津子

**問** 役場内の人材育成  
材の活用は、デジタル化  
社会にいち早く対応でき  
る為にも意味がある。新  
しいことに取り組み際に  
は、受け入れる側の充分

な理解が前提だと思いが、  
導入していく上での具体  
的な計画は。

**町長**

今時代の大きな転  
換期に来ている。  
内部人材としての町の職  
員や町民の皆さん、企業  
の経営者の皆さんのスキ  
ルを上げていってもらう  
事が必要。町のスタイル  
に合ったものに形を変え  
ながら導入していく。

デジタル化には総務省  
から国家公務員の方には  
スマート農業においては  
民間企業から地域プロ  
ジェクトマネージャーを  
招き入れたい。

旧庁舎の解体に伴い、  
合併前の文書資料等の整  
理をデジタル事業推進の  
為に全部デジタル化、デ  
ータ化していく。

**問**

危機管理監の就任  
以来、町の防災体

防災への現在の  
状況と災害への  
広域的な取り組みの  
今後の課題は

制や住民の災害に対する  
意識が変わってきたと実  
感している。

**町長**

球磨川、百太郎溝、幸  
野溝をはじめとする町内河  
川の対策については、今後  
広域的な取り組みは必須。  
啓発を含めた連携は。

**町長**

県の予算で沈砂池  
年度の出水期迄に整備出  
来たらと思っている。色  
んな取り組みをやってい  
く中で地域間の連携を  
しっかりとやっていかな  
ければならない。今後環  
アセスメントとか、球磨  
川流域の整備計画等が出て  
くるが、町が出来る治水計  
画を立てていきたい。



総合防災マップも入ってい  
るあさぎりナビ

サイン  
(看板・案内板)  
計画の検討を

**問**

設置の目的は人々  
の移動行動につい  
て、町の理解に関わる情  
報を分かりやすくする為  
である。平成29年にも質  
問したが、あれから5年  
経ったがどのような整備  
が行われたか。

**総務課長**

町の指定避難所は  
指定緊急避難所を  
含めて22カ所、避難所へ  
の経路の標識は現在も設  
置していない。

**問**

災害時の一時避難  
所として公民分館  
も活用していく計画があ  
るが、今後関係人口を増  
やしていく中で、町に新し  
く来られる方々には分か  
らない場面が想定される。  
あさぎりナビの中に「防  
災マップ」があるが直ぐ  
には地図が出ず使いづら  
い。まだナビを入れてい  
ない方も多い。重要なツ  
ールのPRの必要は。

**総務課長**

機会を見て情報の  
提供をしていく。

**問**

防災・観光関連、  
健康づくりいずれ  
も球磨人吉広域での連携  
が課題だと思いが。

**町長**

10市町村の連携が  
これから更に大事  
になってくる。一方的な  
話にならないように、強  
いリーダーシップを示さ  
れる方をサポートしなが  
ら開かれた球磨人吉とな  
るよう活動していきたい。



東京オリンピック開会式 (ピクトグラム)



議員 小谷 節雄

## 副町長の辞職について

**問**

このような事態になったことには、町長としての任命責任や結果責任がある。先日はハラスメントという言葉も出てきたが、行政経験豊富な前副町長と埋められない根本的な方針の違いとかがあったのか。

**町長**

副町長はしきりに「町長はやり方が違う」と言われていたので、かなり戸惑いがあったのかと思う。私にも責任があるし残念なことだが、政策の違いはなかったと思う。

**問**

ポピュリズムとは、基本的に多数決原理で50%プラス1票で全体を総取りする、数は正義だという考え方。それに対して、健全な民主主義とは、多数派が数で押し切るのではなく少数意見を尊重し議論を尽くす姿勢が貫かれている。この表現を借りるとすれば、町長の現在の政治手法は、どちらであると思うか。

**町長**

少数の意見をしっかりと受け止めるべきではない。町長としての力を間違った使い方をしないよう慎重になっているつもりだが、案外欠けているかもしれないので、そこはしっかりと心がけていきたい。

**問**

政治姿勢に関して、異なる意見や考えを取り入れる寛容の気持ちをもち続けて頂くようお願いしたい。

**町長**

寛容な精神は持つていきたいが、政策を進めるためには、そこに経営手腕というのが必要ではないかと思う。その結果の審判は4年に一度仰ぐわけだから。

公立多良木病院企業団  
開設者の一員としての  
認識は

**問**

4月に就任される新企業長との意思疎通を図りその経営方針

等を尊重していく事を最優先すると共に、開設自治体として関係職員が病院経営に適切に関わり、町村長への確かなアドバイスや意見具申ができることが重要ではないか。4町村が明確な医療政策を示し経営方針の共有化による予算措置とするためにも、病院をコントロール出来る担当部署として集中的な勉強会や定期的な協議などが必要では。

**町長**

首長同士で勉強し意見のすり合わせをするのは、かなり時間と労力が必要となるので、まずは町村関係部署で集中した議論を行い医

各施策方針等の  
検討決定実施への  
プロセスの透明化  
について

公民分館整備事業の制度改正について、過去に遡っての補助率の見直しの検討など、制度が確定してない段階で町長名で発信されると、受け取る側の判断は「町がその様にやってくれるもの」となるので、行政執行上の手順としては適切ではないと考えるが。

**問**

踏み込むときには踏み込まないと話があり、約束するつもりではなかったが、公文書として出してしまったことはミスなので、今後十分に反省し注意したい。

**町長**

公立多良木病院企業団  
開設者の一員としての  
認識は



# ふれあい福祉センターの 利用促進策は



こみ た か 小見田 和行 議員



皆さんのお越しをおまちしています  
ふれあい福祉センター

## 問

利用状況（令和3年4月～令和4年2月）では、キッズスペース（ボルダリング）の利用は毎月3ケタの利用があるが、他のスペースにおいてはコロナ禍もあってか利用が少ない。「福祉の拠点」「地域交流の拠点」「災害避難所施設としての機能」を最大限に有効活用し、利用者を増やすための検討を幾度も行い意見の集約もなされている。しかし、利用はその意見が反映しているとは思えない。現状にあると思う。担当課は、どの様に受けとめているのか。

## 町長

立派な施設ができていますので、十分活用していただくよう文化協会をはじめいろいろな団体に利用を呼びかけている。また、キッズスペースはもつと施設の充実をしてもいいぐらいの反響を感じている。令和3年4月から令和4年2月までの利用状況は、会議、文化協会等各種団体の利用が計3,406人、子ども達がボルダリングを利用する（キッズスペース）、食事ができる（イートスペース）を含め合計7,308人の利用となっている。

## 問

コロナ禍という事で、設置目的である「健康と福祉の増進に係る福祉の拠点及び、交流、憩いの場の提供」に沿った運営ができていないのは理解できるが、ウィズコロナ、アフターコロナにおける利用に向けた確保を含め、準備期間と

して、体制整備を計るべきと思うが。

## 生活福祉課長

検討会で要望があった冷蔵庫、オーブンレンジや机や会議用モニター等は準備、設置済みである。物販（直売所）グループの委員さんと協議を重ねているが「だれが、それを進めていくか」というところではなかなか前に進んでいない状況である。



## 問

ふれあい福祉センター利用促進検討会においても、スポーツジム等としての利用の意見も報告されている。「健康の増進」という設置目的とも合致するが開催の計画はできないか。

## 健康推進課長

現在ヘルシーランド1ヶ所で開催されているが参加者が町内に広がっていった場合、まずは球磨川より北側に、その後は中心部に、そして3ヶ所でも不足する可能性もあるのでその場合は「ふれあい福祉センター」での開催も考えられるが現時点においてはその計画はなされていない。

## 町長

先進地の新潟県見附市は校区ごとに運動教室の会場がある。会場が増えるのに職員も業務多忙となっていくので、民間委託も含め検討していきたい。

## その他の質問

- 農業経営診断データの活用について
- スマート農業の導入と、その課題対応策について

## 球磨郡議長会研修

令和3年12月20日より21日にかけて、球磨郡町村議長会の研修を行った。球磨郡管内の主要事業の要望を管内九ヶ町村議長全員参加のもと、20日には総務省に金子恭之総務大臣を訪問して、直接要望書をお渡ししてお願いしたところ、要望実現の為に全力を尽くすとの力強い言葉を頂いた。その後、参議院会館に松村祥史参議院議員、馬場成志参議院議員を訪問して同様の要望を行った。21日には、相良村に建設が計画されている、川辺川における流水型ダムの防水防災効果がどれ位のものなのか、どういう構造物なのかなど知識を深める必要がある、という観点から島根県益田市にある流水型ダムの益田川ダムを視察研修を行った。ダムを管理しておられる島根県の職員の方より詳しく説明して頂き、流水型ダムの災害防止効果が期待できる事を実感した。



管内主要事業の要望書を総務大臣に提出



ダム管理者からの説明状況



流水型の益田川ダム

## 永年在職議会議員表彰



豊永喜一議員が、町村議会議員として10年以上在職し、功労があったとして球磨郡町村議会議長会会長より表彰された。

# 総務建設経済常任委員会報告

○令和3年12月27日(月)

(1) 一般会計補正予算(第7号)

に つ い て

(企画政策課・農林振興課)

(2) 須恵地区中央浄水場の状況に つ い て

(上下水道課)

○令和4年1月27日(木)

(1) あさぎり町議会議員及びあさぎり町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定に つ い て

(総務課)

(2) 有機センター堆肥舎の建設(新規)に つ い て の 報 告

(農林振興課)

(3) 公営企業審議会結果及び上下水道経営戦略概要に つ い て

(上下水道課)

○令和4年2月21日(月)

(1) 要望書に つ い て

○木村製材所によるもの

○田頭川堤防舗装について

○あさぎり町飲食業有志によるもの

○農業委員会への女性登用に 関 する 物 の

○令和4年2月24日(木)

(1) 一般会計補正予算(第8号)に つ い て

(総務課・企画政策課・

財政課・農林振興課・

商工観光課・建設課・

農業委員会)

(2) あさぎり町消防団条例の一部を 改 正 する 条 例 の 制 定 に つ い て

(総務課)

○消防団員の定員を「700

人」を「650人」に改める。

○団員の報酬は、年額報酬及 び 出 動 報 酬 と する

(3) あさぎり町の職員で非常勤の 物 の 報 酬 及 び 費 用 弁 償 に 関 する 条 例 の 一 部 を 改 正 する 条 例 の 制 定 に つ い て

(総務課)

○産業医の報酬及び費用弁償

(4) 吉井地区の分区再編に つ い て

(総務課)

(5) あさぎり町地域デジタル推進 協 議 会 の 条 例 制 定 ( 案 ) に つ い て

(企画政策課)

(6) テレワーク拠点整備に伴う旧 上 保 健 セ ン タ ー 改 修 工 事 に つ い て

(企画政策課)

(7) 国営川辺川総合土地改良事業 負 担 金 に つ い て

(農林振興課)

(8) あさぎり町中心市街地活性化 推 進 委 員 会 設 置 条 例 の 一 部 を 改 正 する 条 例 の 制 定 に つ い て

(商工観光課)

(9) 水道事業特別会計補正予算 ( 第 4 号 ) に つ い て

(上下水道課)

(10) 下水道事業特別会計補正予算 ( 第 2 号 ) に つ い て

(上下水道課)

(11) 上下水道事業経営戦略に つ い て

(上下水道課)

(12) あさぎり町水道事業基金条例 の 制 定 に つ い て

(上下水道課)

## 国営川辺川総合土地改良事業農家年償還額 (R3.12 概算算定)

年利：0.6%で算定

農家年額償還 (10a)	実施面積 (ha)	反当総額 (平均) (円)	反当年額 (平均) (円)	対象者 (人)
区画整理	9.10	73,352	4,890	42
農地造成	50.17	74,654	6,115	93
計	59.27	(74,454)	(5,927)	108
			重複者	27

# 厚生文教常任委員会報告

○令和3年12月24日(金)

〔1〕令和3年度一般会計補正予算(第7号)について

(生活福祉課)

①子育て世帯への臨時特別給付事業補助金  
対象児童見込み数  
2,300人  
1人当たり5万円  
合計1億1,900万円

問 一括で10万円の給付はできなかつたのか。

答 システム改修が国の方針急変で間に合わなかった。

〔2〕ヘルシーランド指定管理者の指定について

(生活福祉課)

選考委員会における詳細な内容、点数、順位は非公開となっている。

問 議会が最終的に議決するためには必要ではないか。

答 選定された業者さんに確認、可能であれば提示したい。



指定管理者が新たになったヘルシーランド

〔3〕深田地区体育館を用途廃止としたための条例改正について

(教育課)

譲渡先がなければ、令和4年9月以降に解体工事予算を上程予定。

〔4〕小学校の適正規模および適正配置(中間答申)について

(教育課)

中間答申は次のとおりである。「複式学級の編成になつても5校を残すことが望ましい。」

○令和4年1月28日(金)

〔1〕子ども医療費助成に関する条例の改正について

(生活福祉課)

「中学3年生まで」から「18歳まで」に対象年齢を引き上げる条例改正。人吉球磨管内では、あさぎり町と人吉市だけが18歳まで対象にしない。

問 現物給付へ変更は考えないか。

答 償還払いを続けたい。

〔2〕避難行動要支援者名簿に関する条例について

(生活福祉課)

自力で避難が困難な人として要件に合致する方々の名簿を消防団他の避難支援等関係者(支援等に実施に携わる)に提供するための条例。

○令和4年2月21日(月)

〔1〕令和3年度一般会計補正予算(第8号)について

(高齢福祉課)

養護老人ホーム入所者負担金他の補正。

〔2〕令和3年度介護保険特別会計補正予算(第3号)について

(高齢福祉課)

実績に見込み・交付決定内示等による補正。

〔3〕国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

(税務課)

未就学児に係る均等割額を2分の1に軽減する改正。

〔4〕コンビニ交付システム導入経費の令和4年度計上見送りについて

(町民課)

各種証明書のコンビニで交付システムについて、まだ不明瞭な点があるのでもう少し様子を見るため見送りにした。

〔5〕令和3年度一般会計補正予算(第8号)について

(生活福祉課)

保育士や幼稚園教諭等の賃金引き上げが継続される取り組みを行うことを前提として収入を3%

程度(月額9千円)引き上げるための措置。

〔6〕避難行動要支援者名簿に関する条例について

(生活福祉課)

個人情報情報の漏洩等に対しては、検討する。

〔7〕令和4年度「特別支援教育」「家庭教育支援」「基礎学力定着」「地域学校協働活動」について

(教育課)

〔1〕吉井地区の分区再編について

(総務課)

〔1〕「ウイグル等の人権問題」に対し国に調査を求め意見書採択のお願いの審査について

審査について慎重に審査を続ける必要があるため「継続審査」に決した。

# 一部事務組合報告

## 上球磨消防組合議会

○3月3日(木)

令和4年第1回定例会が開催された。

組合職員の「分限に関する手続き及び効果」等4件の働き方に関する条例の一部改正。

一般会計当初予算は前年度より1,500万増の総額6億5,100万円とする。主な歳出はドローン購入費やフライトオペレーター講習費、庁舎改築を受けての社会科見学等対応のパンフレット作成費など。全議案とも原案通り可決した。

一般質問では

- 新型コロナウイルス第6波流行中における消防活動について
- 消防組織の広域連携等について

質問があった。

## 人吉球磨広域行政組合議会

○2月25日(金)

令和4年第1回会議が開催された。

①公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定。

②一般廃棄物処理施設基金条例の制定。

③負担金条例との一部を改正する条例等の制定。

④一般会計補正予算は燃料高騰によるもの。

全議案とも原案通り可決した。

○3月25日(金)

令和4年度一般会計予算総額17億2,236万6千円あり、さざり町の負担金は1億9,408万円。

全議案とも原案通り可決した。



## 公立多良木病院 企業団議会

○3月4日(金)

令和4年第1回定例会が開催され、令和3年度補正予算は、収益は新型コロナウイルスに係る補助金増、入院、外来収益の調整及び町村へのコロナワクチン接種派遣による収益増などにより差引総額5億586万5千円の増額補正。費用は給与費の各種引当金の調整、材料費、経費の調整等により総額1億7,216万1千円の減額補正。令和4年度予算は、収益総額46億6,826万2千円。費用総額46億3,604万1千円。損益3,222万1千円の純利益を見込んだ予算となり可決した。

(令和4年度あさざり町負担金)

- ※病院事業、シルバーエイト、健診センター

1億9,118万9千円

※病児・病後児保育特別会計 243万271円

一般質問では、

○当院のコロナ対応について

○地域医療構想に関わって入院・転院されてきた場合の対応について

○新型コロナウイルス対応について

○地域医療機関の連携の現状と将来の展望について

○病院経営スペシャリスト養成機関への職員の派遣について

○地方公営企業法全部適用病院における設置自治体関係者、首長、議員、職員と医師、看護師、その他の医療スタッフとの協調と連携について

## 熊本県後期高齢者医療広域連合議会

○2月9日(水)

令和4年第1回会議が熊本県市町村自治会館において開催され、議案第1号から議案第6号及び発議第1号並びに一般質問が行われた。

令和4年度の後期高齢者医療広域連合一般会計の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ2億5,294万5千円前年比448万6千円の減。

後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ2千984億6,781万5千円であり前年度と比較し56億6,692万7千円の増。

歳入においては、保険料率改定による増及び療養給付費の自然増による増並びに窓口2割負担開始に伴う経費の増が主なもの。

歳出については、一人当たりの医療費の増加、また、窓口2割負担開始に伴う委託業務の増並びに高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業の取り組み市町村の増加によるものが主なもの。

条例の制定は、高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い

①令和4年度・5年度の保険料率が、(1)所得割率を「0.0995」から「0.1026」に改正

(2)被保険者均等割額を、「50,600円」から「54,000円」に改正。

②保険料の賦課限度額を「64万円」から「66万円」に改正する。

全議案とも原案通り可決した。

# 町民の声

町内の方々に寄稿していただきました

## 文化を体験する

免田地区(二子) 福永 <sup>まさし</sup> 正志さん

私の幼い頃の思い出に、じいちゃんが大切にしていたもちつきがある。もちつきの日は、早朝からマキでカマ炊きをするので、マキの火からでるけむりと朝のキリで、まっ白モクモクの中で楽しかった。いい思い出だ。人はいい思い出を話す時に目が輝いている。「目は心の窓」ということわざがあるように、目が光ったら心が動いた。または、喜んだ瞬間に思えるのでその瞬間が好きだ。もちつきは日本の文化であるが日本の歴史は世界一長く、文化にあふれている。私の住むこの地域には太鼓踊りがある。40年程前に全国大会に出場した思い出を60代の先輩達が目を光らせて話してくれる。町民の心が元気であるという事が町が元気だという事だと思う。



追伸 昨年からもちつき始めました。

このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いいたします。



### ■表紙の写真について

☆江戸時代から受け継がれている鯉のぼり☆  
「愛する我が子が、鯉のように強く立派に出世していきますように」という親の愛情と願いが込められています。  
あさぎり町の未来をになう子供たちをみんなで守り育てていきましょう。



### 編集後記

『市房山にかすみして 桜咲きみつ 春たてば 希望かがやく 免田校』

と歌った友から、ふるさと離れて50数年、父母・家族のぬくもりが残る「ふるさと」を持って、とても幸せです。いつも「あさぎり町」のことを思い、そして気にかけていますとの便りがありました。

あさぎり町に生まれてよかった・育って良かった・そして住んで良かったと思つて貰える町づくりを目指しての議会活動です。

伝える・共に考える場としての「議会だより」を心がけています。意見等ありましたら是非お聞かせ下さい。お待ちしております。

(山口和幸)

### 編集発行者

議長 長徳永 正道

### 広報調査特別委員会

委員長 小谷 節雄  
副委員長 岩本 恭典  
委員 山口 和幸  
委員 小出 高明  
委員 山本 文美  
委員 溝口 高文  
委員 難波 美



あさぎり町議会だよりはホームページでもご覧頂けます。

発行/あさぎり町議会 編集/議会広報調査特別委員会  
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地  
TEL (0966) 47-0312・FAX (0966) 47-0265  
E-mail syoki-gikai@asagiri.kumamoto.jp 印刷: (有)町田印刷

★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。